

長浜市の地域医療ビジョン

地域完結型の持続可能な地域医療を守るために

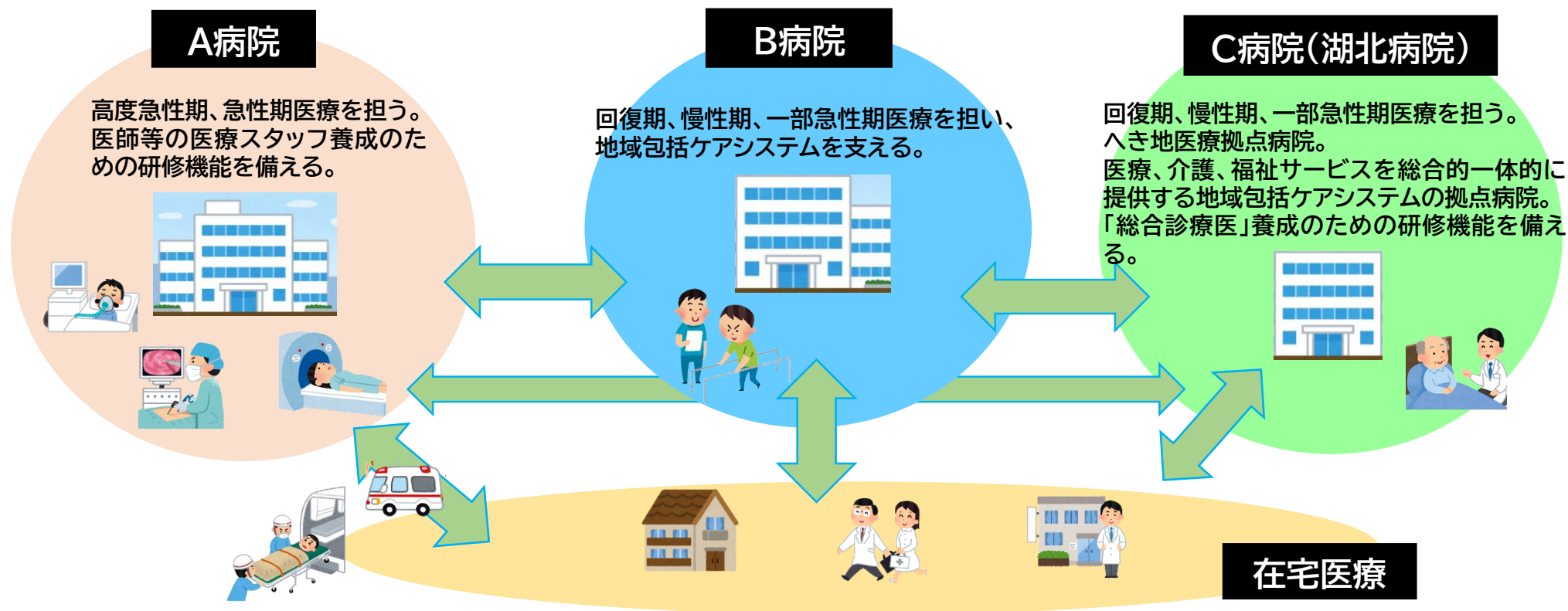
令和5年2月

「地域医療とは、病院などの医療機関での治療やケアの枠組みにとらわれず、地域住民が安心して暮らすことができるよう、地域住民の健康を支える医療体制のことである。医師やそのほかの医療従事者が主体となり、地域住民に対して疾病の予防や健康維持・増進のための活動を行う。現在では地域包括ケアシステムに基づき、在宅療養や地域に住む高齢者、障害者への支援活動、妊婦への保健指導や相談、子育て支援なども行われている。」（看護辞典より）

※ この資料は、長浜市における医療再編に関する概略について、これまでの湖北圏域地域医療構想調整会議及び市内の病院との各種協議・検討の要点をまとめ、経営形態検討委員会における協議用資料として作成したものです。

長浜市の地域医療の目指す姿 【地域完結型の持続可能な医療提供体制】

人口減少、人口構造の変化と医療ニーズの変化、「医師の働き方改革」に対応しながら、高度急性期・急性期・回復期・慢性期医療、へき地医療などそれぞれの医療が適切に提供され、身近で頼りになる「かかりつけ医」との切れ目のない連携により、必要な医療が地域全体で一体的に提供される地域完結型の持続可能な医療提供体制。



※ この資料は、長浜市における医療再編に関する概略について、これまでの湖北圏域地域医療構想調整会議及び市内の病院との各種協議・検討の要点をまとめ、経営形態検討委員会における協議用資料として作成したものです。

長浜市が目指す地域医療のポイント 1

湖北地域の優れた医療を引き続き守る

地域医療構想に基づく医療再編を実施し、病院の機能分担、役割分担を推進することにより、これまで市内4つの病院(市立長浜病院、長浜市立湖北病院、長浜赤十字病院、セフィロト病院)がそれぞれ培ってこられた医療に敬意を表し、さらに充実・発展させると共に、将来を見据えた医療ニーズにも対応できる医療環境を構築する。

安心して暮らせるまちをつくる

疾病の治療にとどまらず、疾病の予防や健康の維持・増進のための活動を行うことにより市民が安心して暮らすことができ、生涯現役で活躍できるまち、安心して年を重ねることができるまちをつくる。

若者が働く場として医療を守り、活力あるまちをつくる

医療が提供される場は湖北地域の人々が働く重要な就労の場であり、若者の雇用の場としても大きな役割を担っている。若者が暮らし働きやすい環境を整え、定住人口の増加に繋げ、活力のあるまちをつくる。

※ この資料は、長浜市における医療再編に関する概略について、これまでの湖北圏域地域医療構想調整会議及び市内の病院との各種協議・検討の要点をまとめ、経営形態検討委員会における協議用資料として作成したものです。

長浜が目指す地域医療のポイント 2

湖東・湖北保健医療圏域の医療を守る

長浜市内の医療提供は、米原市および湖東保健医療圏域の一部も含む医療提供を担っている。令和4年度の滋賀県保健医療計画見直しの中で、精神救急医療、周産期医療、小児救急医療については、湖東・湖北でブロック化による医療提供体制が検討され、今後の人口減少の観点からも更にブロック化が進むことが想定されていることから、引き続き湖東・湖北の医療を守っていく。

一体的な病院経営を目指す

地域医療構想調整会議で合意されたABCの診療機能に再編されると、収益構造が変化し病院経営に大きく影響を及ぼすことから、持続可能な医療提供体制のために、3つの病院(市立長浜病院、長浜市立湖北病院、長浜赤十字病院)の一体的な経営を目指す。

効率的で安定した病院経営を目指す

将来にわたって5疾病6事業を始めとする質の高い必要な医療が提供できるよう滋賀県、近隣自治体との連携・協力を図ると共に、地域医療の確保に最もふさわしいと考えられる経営形態とすることで、経営改善等の取り組みを推進するなど、本市の財政負担の可能な限りの縮減を図る。

※ この資料は、長浜市における医療再編に関する概略について、これまでの湖北圏域地域医療構想調整会議及び市内の病院との各種協議・検討の要点をまとめ、経営形態検討委員会における協議用資料として作成したものです。

これまでの湖北圏域の地域医療提供体制の検討経過【概要】

〈第1回提出資料〉

湖北地域の医療は、市立長浜病院・長浜市立湖北病院・長浜赤十字病院・セフィロト病院の4つの病院を中心に支えられており、県内トップの区域内完結率の高さを誇ります。特に高度急性期および急性期医療については、市立長浜病院と長浜赤十字病院を中心として互いに切磋琢磨する中で連携協力を図り、どの疾患についても概ね区域内で供給できている状況です。しかしながら、医師の働き方改革が迫る中、将来にわたって市民が安心して医療を受けられる環境を整えることが喫緊の課題となっています。

- ◆ 市立長浜病院小児科常勤医師の減少を契機に、平成29年2月から小児救急医療体制と湖北圏域体制について、湖北医師会や病院、行政機関とで協議を行い、啓発事業を実施。
- ◆ 平成29年8月から市立長浜病院と長浜赤十字病院との間で地域医療包括連携協定(仮称)の協議を行う中で、湖北圏域にあった医療提供体制について自主的な議論をしていくことを両病院で確認し、湖北医師会、長浜保健所とともに「湖北地域の高度急性期・急性期医療を考える研究会」を立ち上げ、報告書をまとめた。
- ◆ 平成31年3月の湖北圏域地域医療構想調整会議にて「病院機能の再編案（A B C D）」が4病院長から報告され、その実現に向け事務レベルでの作業を進めていくことが合意された。
- ◆ 令和元年12月の各病院長および事務協議にて、長浜市病院事業、長浜赤十字病院からそれぞれ「湖北医療圏域における新たな病院像」が提案され、実現に向けた論点整理を行った。この中で、再編が始まる前から経営体は一つにすることが確認された。また、長浜市病院事業は3つの病院で地方独立行政法人、長浜赤十字病院は市立長浜病院の指定管理を提案。お互い異なることを確認した。
- ◆ 令和4年3月の長浜市議会本会議にて新長浜市長が「病院の再編について早急に取り組む」と表明。
- ◆ 令和4年6月に京都大学と滋賀医科大学から長浜市長あてに「働き方改革に対応するため地域医療構想の実現に向けた病院再編を早急に進めていただきたい」旨の要望書が出された。